

(1) 工学部の沿革(明治30年4月～令和2年3月まで)

明治	30. 4	第五高等学校に工学部創設。(土木学科, 機械学科)
	39. 3	熊本高等学校(3年制)新設。(採鉱冶金学科増設)
	44. 6	附属工業夜学校(2年制)開設
大正	6. 12	電気工学科を増設
昭和	6. 1	附属工学校へ改称
	14. 4	工業化学科を増設
	15. 4	採鉱冶金学科が採鉱学科と冶金学科へ
	17. 4	建築工学科を増設
	18. 4	附設臨時工業教員養成所を附設工業教員養成所へ改称
	19. 4	熊本工業専門学校へ改称. 電気通信科, 第二部機械科を増設
	20. 4	第二部冶金科を設置
	21. 4	第二部機械科、第二部冶金科を廃止
	24. 5	熊本工業専門学校が熊本大学工学部へ
	26. 3	熊本工業専門学校を廃止
	29. 4	工学専攻科(修業年限1年)を設置
	30. 7	土木建築工学科が土木工学科と建築学科へ
	34. 4	採鉱冶金学科が鉱山工学科と金属工学科へ
	36. 4	生産機械工学科を設置
	38. 3	工学部創立65周年記念事業会からの寄付により、工業技術研究所(仮称)を設置
	38. 4	電子工学科を設置
	40. 4	合成化学科を設置、鉱山工学科を資源開発工学科へ改称
	41. 4	工業技術研究所を工学研究機器センターへ改称
	42. 4	共通講座「工業数学第一」を設置
	46. 4	附属衝撃エネルギー実験所を設置
	47. 4	共通講座「工業数学第二」を設置
	49. 4	環境建設工学科を設置
	52. 11	工学部創立80周年記念事業会からの寄付により機械実習工場を改装し、研究資料館を開設
	54. 4	情報工学科を設置
	61. 4	電気工学科・電子工学科・情報工学科を電気情報工学科へ、工業化学科・合成化学科を応用化学科へ改組
	62. 2	資源開発工学科・金属工学科を材料開発工学科へ、生産機械工学科・機械工学科を機械工学科へ改組
	63. 4	土木工学科・環境建設工学科(土木コース)を土木環境工学科へ、建築学科・環境建設工学科(建築コース)を建築学科へ、共通講座の4講座を工業数学・応用力学の2講座へ改組
平成	4. 4	電気情報工学科に寄附講座(電気エネルギー先端技術講座)を設置
	8. 4	土木環境工学科、建築学科、材料開発工学科、電気情報工学科、応用化学科および共通講座を整理統合し、環境システム工学科、知能生産システム工学科、電気システム工学科、数理情報システム工学科、物質生命化学科の5学科へ改組
	9. 11	工学部創立100周年記念式典を挙行
	16. 2	工学部創立百周年記念事業後援会から寄附を受け、工学部創立百周年記念館を竣工
	17. 4	文部科学省の特別教育研究費の採択を受け(平成17年度～21年度)、ものづくり創造融合工学教育センターを設置

- 18.4 環境システム工学科、知能生産システム工学科、電気システム工学科、数理情報システム工学科、及び物質生命化学科の5学科から、新しく物質生命化学科、マテリアル工学科、機械システム工学科、社会環境工学科、建築学科、情報電気電子工学科、数理工学科の7学科へ改組
寄附講座(太陽電池・環境自然エネルギー寄附講座)設置(平成25年3月31日まで)
- 23.6 ものづくり創造融合工学教育センターを革新ものづくり教育センターへ改組
- 27.7 革新ものづくり教育センターをグローバルものづくり教育センターへ改組
- 30.4 物質生命化学科、マテリアル工学科、機械システム工学科、社会環境工学科、建築学科、情報電気電子工学科、数理工学科の7学科から、新しく土木建築学科、機械数理工学科、情報電気工学科及び材料・応用化学科の4学科へ改組